

# 大野城市ハザードマップ

洪水 土砂災害 地震 平成28年1月版

このハザードマップは、災害危険箇所や避難方法など、災害から身を守るための情報を示したものです。このハザードマップを参考に、自宅周辺の危険箇所や避難所等を確認し、災害への事前の備えに役立ててください。

## 緊急連絡先

### 大野城市役所

(災害警戒本部・災害対策本部) 092-501-2211

●春日・大野城・那珂川消防署 092-584-1191

東出張所 092-504-7119  
南出張所 092-595-0119

●春日警察署 092-580-0110

大野交番 092-503-5800  
白木原交番 092-582-9234  
南ヶ丘交番 092-596-0025  
春日原交番 092-581-0342

●那珂県土整備事務所 用地課 092-513-5563

## 気象情報、避難情報はここから取得

### 防災メール配信システム

防災情報等をあなたにお知らせします。福岡県が提供する防災情報等のメール配信システムです。携帯電話やパソコンに、防災に関する情報や地域の安全情報などをお知らせします。登録は無料です。(通信料は利用者負担です。)

●登録方法 ①eメール送信 送信先/mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp  
②HPから登録 アドレス/http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/

●お問合せ先 福岡県建設部防災危機管理局防災企画課 電話092-643-3114

### インターネット防災情報

福岡管区気象台 <http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>  
福岡県土砂災害危険度情報 <http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp/dosya/>  
福岡県河川防災情報 <http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/>  
福岡県防災情報(携帯) <http://www.mobile-doboku.pref.fukuoka.lg.jp/>

●大野城市ソーシャルメディア 災害に関する情報だけでなく、市の施設情報、イベント情報なども配信しています。

Google+(グーグルプラス) <http://gplus.to/OnojoCity> Facebook(フェイスブック) <http://www.facebook.com/OnojoCity>  
Twitter(ツイッター) <https://twitter.com/OnojoCity> LINE(ライン) <http://line.naver.jp/ti/p/%40onojocity>

## 避難情報と住民に求める行動

※水害における「下流」「上流」とは、笹笠川と牛頸川の合流点を基準とする。

情報	発令基準	そのときの行動
避難準備情報	水害 下流 筒井橋の水位が「避難判断水位」(4.10m)に達し、さらに非常に激しい雨が降り続き水位の上昇が見込まれるとき	家族への連絡や、非常持出品の用意など、避難の準備を行ってください。
	上流 落合橋(太宰府市)の水位が「避難判断水位」(2.55m)に達し、さらに非常に激しい雨が降り続き水位の上昇が見込まれるとき	避難行動要支援者(高齢者や身体が不自由な方など)は早めに避難してください。
避難勧告	土砂災害 土砂災害危険度情報レベル2(警戒)が発表され、今後大雨が降り続き危険性が高まるおそれがあるとき ※夜間から早期に判断基準に達する可能性がある場合は、早めに発令する場合があります。	避難所など安全な場所へ避難してください。夜間や豪雨などにより避難が困難な場合は、丈夫な建物の2階以上に避難したほうが安全な場合があります。
	水害 下流 筒井橋の水位が「はん濫危険水位」(4.65m)に達し、さらに「避難勧告水位」(はん濫危険水位+1.0m) (5.65m)を超えおそれがあるとき	避難所など安全な場所へ避難してください。
	上流 落合橋(太宰府市)の水位が「はん濫危険水位」(2.80m)に達し、さらに非常に激しい雨が降り続き水位の上昇が見込まれるとき	避難が困難な場合は、丈夫な建物の2階以上に避難したほうが安全な場合があります。
避難指示	土砂災害 1時間後または2時間後に土砂災害危険度情報レベル3(警戒II)に達すると発表され、今後大雨が降り続き土砂災害が発生するおそれがあるとき 2 記録的短時間大雨情報(1時間雨量110mm)が発表されたとき 3 土砂災害の前兆現象(湧き水、地下水の濁り、渓流の水量の変化等)が発見されたとき	まだ避難していない方は、早急に避難してください。危険が切迫し避難する余裕のない場合は、命を守る最低限の行動を取ってください。
	水害 1 都市内土砂災害が発生したとき 2 山崩り、流木の流出の発生が確認されたとき 3 避難勧告等による立ち退き避難が十分でなく、再度立ち退き避難を住民に促す必要があるとき	まだ避難していない方は、早急に避難してください。

サイレン信号(避難準備情報) 5秒吹鳴 5秒吹鳴 5秒吹鳴 6秒休止 6秒休止

サイレン信号(避難勧告・避難指示) 60秒吹鳴 60秒吹鳴 60秒吹鳴 5秒休止 5秒休止

## 情報伝達経路

大野城市では、避難に関する情報をさまざまな方法でお知らせします。避難準備情報、避難勧告、避難指示は、災害情報伝達システムからのサイレンのほかに、防災メール・まもるくん、市ホームページ、広報車の巡回、SNS(ツイッター、フェイスブックなど)でお知らせします。

大野城市 → 避難準備情報、避難勧告、避難指示 → 市民みなさん

- 災害情報伝達システムでのサイレン
- 広報車の巡回放送
- 防災メール・まもるくん、Google+(グーグルプラス)、TwitterやFacebook、LINEなどのSNS
- 市役所(災害対策本部)へ直接電話をする方法

## 洪水

洪水とは、豪雨によって河川の水量が急激に増加し、異常な流量になることです。豪雨による浸水現象には、河川からのはん濫だけでなく、土地が低い所では、排水不良等から発生することもあるので注意しましょう。

- 外水はん濫
- 内水はん濫

大雨によって河川の水位が高くなると、堤防を超えて水があふれたり、堤防が壊れたり(決壊、破壊)することがあります。このようなことが原因で生じるはん濫のことを「外水はん濫」といいます。

市内に降った雨は、水路などを通して河川に放出されます。しかし、ゲリラ豪雨のような雨が降ると、水路の排水能力が追い付かなかったり、河川の水位が上昇して排出できないことがあります。このように、地域に降った雨が河川にたどり着く前にあふれる状態のことを「内水はん濫」といいます。

### ●雨の降り方と強さ

1時間雨量	10mm~20mm未満	20mm~30mm未満	30mm~50mm未満	50mm~80mm未満	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る雨	土砂降りの雨	ハケツをひっくり返したような雨	滝のように降る雨	息苦しくなるような圧迫感がある雨

### ●洪水における避難のポイント

- 長靴は水が入って歩きにくく危険です。裸足やスリッパも禁物です。運動靴をはきましょう。
- たれ下がった電線には触らないようにしよう。
- 橋を渡らないようにしましょう。
- 道路冠水時は、側溝、水路、マンホール(フタがとれいる可能性がある)へ、坂道(水深が浅くても水の流れが速い)、たもたなどが危険です。

### ●避難行動には、「立ち退き避難」と「屋内安全確保」があります。

- 立ち退き避難: 指定の避難所または近隣の安全な場所へ移動する避難行動。指定の避難所だけでなく、親せきや知人の家に避難することも避難行動です。
- 屋内安全確保: 屋内に留まって安全を確保する避難行動。急な雨や浸水で屋外への立ち退き避難が危険な場合、自宅の安全な場所や近くの高い建物へ避難してください。

災害が迫ったとき、置かれた状況はそれぞれ違います。自ら判断し、適切な避難行動をとらなければなりません。たとえば、次の地域にお住まいの方は、気象情報や市の避難情報に注意し、早めの避難行動を心がけてください。

- 川沿いに住んでいる、または50cm以上の浸水想定区域内に住んでいる
- お年寄りや子どもなど、避難に時間がかかると思われる家族と住んでいる

## 地震

### ●地震が発生したら

最初の大きな揺れは1分間

- まず、身を守る。机の下などへ、俯て外へ飛び出さない。
- すばやく火を消す。危険が伴うので無理はしない。
- 脱出口を確保する。ドア、窓を開ける。

### 発生1~2分

#### 揺れが収まったらまず火の始末

- 火元を確認する。火が出たら落ち着いて初期消火。
- 家族の安全を確保する。倒れた家具の下敷きなどでケガをしていないか。
- 靴をはく。室内に散乱したガラスの破片などで足を傷める。

### 発生3分

#### 隣近所の安全確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかける。けがや行方不明者の確認、救出・救護。
- 近所に火が出たら初期消火。大声で知らせる。消火器を使う。バケツリレーをする(風呂の水をためおきておく)。
- 余震に注意。

### 発生5分

#### ラジオなどで正しい情報入手

- 正しい情報をつかむ。ラジオや市役所の情報を聞く。
- 電話はなるべく使わない。緊急連絡電話が優先。安否確認は「災害用伝言ダイヤル171」で。
- 家屋倒壊などの危険があれば避難。避難をするときはガス栓をしめ、ブレーカーを落とす。

### 発生10分

#### 協力して消火 救出・救護活動

- 助け合いの心が大切。力を合わせて消火活動、救出・救護活動。
- 水・食料は蓄えているもので。3日分の飲料水と食料を備蓄しておく。
- 壊れた家には入らない。無理をして、二次災害を起こしてはいけません。
- 災害情報・被害情報の収集。引き続き余震に注意。

### ●大野城市で想定される地震について

大野城市は警固断層帯を含んでいます。警固断層帯は、玄界灘から博多湾を経て福岡平野にほぼ北西から南東に分布する活断層帯です。玄界灘から志賀島周辺に位置する北西部(約25キロ)と、博多湾から福岡市中央区、南区、春日市、大野城市、福岡市、筑紫野市に位置する南東部(約27キロ)に分かれており、これらをおおむね警固断層帯と言います。

警固断層帯南東部では地震が今後30年以内に発生する確率は0.3~6パーセント、想定される地震の規模はマグニチュード7.2程度と言われており、全国の主な活断層の中では発生確率の高いグループに属しています。

平成17年3月に発生した福岡県西方沖地震(マグニチュード7.0、最大震度6弱)の影響により、断層帯南東部の活動を促進する可能性があると言われています。

(出典:福岡県地域防災計画 地震・津波対策編 平成24年5月 福岡県)

## 震度予想図

※警固断層南東部を震源とするマグニチュード7.2の地震を想定した場合の震度予想です。

地震発生時には、家屋の倒壊や地盤の崩壊、火災などの危険を避けるため、まずは近くの一時避難場所(公園や神社の境内、空地など取り急ぎ身の安全を確保できる場所)に避難しましょう。一時避難場所へ避難後、危険が拡大するおそれがある場合はさらに安全性の高い地区避難場所や広域避難地へ移動しましょう。

●地区避難場所とは、災害発生時に、火災の延焼によって生じる放射熱等に対して、安全を確保できる場所であり、一時避難場所より安全性が高い学校のグラウンドや近隣公園等。

●広域避難地とは、大規模な災害発生時、大災害の発生、危険物の爆発等のおそれがある場合に、最終的な避難場所となり、一時避難場所及び地区避難所よりさらに安全性が高い場所。

### ●地震の揺れと想定される被害

震度	被害
5強	●物につかまらないと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本など、落ちるものが多くなる。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。
6弱	●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は傾いたり、倒れることがある。
6強	●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ●耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れるものが多くなる。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な土砂や山全体の崩壊が発生することがある。

※出典:気象庁「気象庁震度観測網の解説」

### 普段から心がけること

- 天気予報や気象情報に気をつける。梅雨時、台風シーズンなど、洪水が起こりやすい時期には、テレビ・ラジオ・新聞の天気予報に注意し、天気の良い日や曇り空の日に備えよう。
- 避難所や避難路を確認しておく。自分の地区の避難所はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。
- 非常食や持ち出しものを準備しておく。非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使わないもの(シリアルや缶詰など)を選びます。また、懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。
- 一人暮らしのお年寄りなどには気配りを。自分の家族や住みだけだけでなく、地域全体に目を向けましょう。特に一人暮らしのお年寄りや病気の方たちには普段からの気配りが重要です。

### 災害時に心がけること

- 避難する前に。避難する前にガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とし、親戚や知人などに避難する旨を連絡しましょう。
- 動きやすい格好、2人以上での避難を。避難する時は、動きやすい格好をし、2人以上で避難しましょう。
- 車での避難は控えて。車での避難は緊急車両の通行の妨げにもなります。徒歩で避難しましょう。
- お年寄りなどの避難に協力を。お年寄りや病気の方などは、早期の避難が必要で、お互いに助け合います。
- 万が一、逃げおくれたときには。洪水時は、無理をせず近くの丈夫な建物の2階以上の場所へ逃げましょう。
- 避難の呼びかけに注意を。市役所や消防団から避難の呼びかけがあった場合には、すみやかに避難しましょう。

### わが家の防災活用メモ

家族の連絡先・避難所などを書き込みましょう!

避難場所	家族が離れた場合の集合場所
風水害時 避難所	
地震発生時 避難場所	

#### 家族の連絡先

名前	電話番号	住所	備考

### NTT災害用伝言ダイヤル

災害時の家族等への連絡にご利用ください。

171 にダイヤルし、音声ガイダンスにしたがって

- 録音の場合 1: 被災地の方はご自宅の電話番号を被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル(市外局番) 092XXXX-XXXX
- 再生の場合 2: 伝言を入れる(30秒以内) 伝言を聞く

※伝言の保存期間は録音してから2日(48時間)です。保存期間を経過した時点で自動的に消去されます。詳しくは、<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

#### 体験利用日

家族・親せき・友人間で体験してください。

- 毎月1日・15日(0:00から24:00)
- 防災週間(8月30日9:00から9月5日17:00)
- 正月三日(1月1日0:00から1月3日24:00)
- 防災とボランティア週間(1月15日9:00から1月21日17:00)